

シリーズ③ 学力向上への道

中山中学校区の  
取り組みについて



中山中学校区で、現在進めている小・中学校の連携を図るための取り組みについて紹介します。

授業改善の取り組み

中山中学校区では、「全員参加でわかる・できる授業づくり」を共通のテーマとして、授業改善に取り組んでいます。

中山中学校では、「①チャーム着席を徹底する ②授業の始まりと終わりを大切に ③生徒が主体的に学び、関わり合いのある授業をする」をめざしています。

具体的には、授業の準備をして席に着き、チャームがなる前に本時目標や授業の流れを提示し、静かに落ち着いた中で授業を始めます。授業の目標を達成させるために、関



わり合いの場面や全員がわかる場面を設定しています。最後に全員で授業のポイントを確認し、生徒は自己評価カード等で振り返りをします。

この取り組みにより、「授業内容がよくわかった」という生徒の振り返りが多くなりました。今後、さらに授業改善に努めていきたいと考えています。

中山小学校では「主体的に学び、考えを豊かに表現する児童」をめざして、国語科を

中心に取り組みを進めています。教師中心の一斉指導の形から、児童が互いに学び合う学習へと変わりつつあります。

例えば、4年生の「ごんぎつね」の学習では教材文をただ読むだけでなく、お気に入りの物語を紹介するための「物語マップ（紹介カード）」を作ることにより、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて叙述をもとに想像して読む力をつけます。授業の初めには、教師自作の「物語マップ」を児童に示すことで、「自分も作ってみたい」という意欲を高めるよう工夫しています。

児童自身が「何のために学習をするのか」というはつきりとした目的意識をもって学ぶことにより、児童が主体的に学習を進めることができます。ようになっています。



この他に、教科書以外の本をたくさん読む並行読書などにも取り組み、読書数も増えています。

中一ギャップ解消への取り組み

小学校から中学校へスムーズに移行できるように、中学校の教員が小学校で授業を行っています。児童・生徒理解を深め、指導方法の共有化を図ることをめざしています。



今年度は、毎週「図工」「外国語活動」「音楽」の授業を小学校の先生とともに進めています。

また、安心して中学校に入学できるように中学校入学説明会では、授業や部活動の見学・体験を通して、中学校生活を実感してもらう取り組みを進めています。

挨拶運動

中山中学校では、毎週木曜日の朝8時前から生徒会執行部が、大山カレッジの方々と一緒に、正門前に立って挨拶運動をしています。中学校の前は小学生の通学路にもなっているため、元気がかわいらしい低学年児童の挨拶に元気をもらったり、来年中学生になる6年生に期待したりしながら挨拶をしています。

